

株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)
証券コード	4318
株式公開日	2001年10月23日
事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
1単元の株式の数	100株
発行済株式の総数	19,098,576株(2016年9月30日現在)
公告の方法	電子公告とする 公告掲載URL https://919.jp/ (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による 公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います)

[ご注意]

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせ下さい。
なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

本誌記載記事に関するお問い合わせ

株式会社 **クイック** 経営戦略室(IR担当)
〒530-0018 大阪市北区小松原町2番4号
TEL 06-6366-0919
E-mail info-kabu@919.jp

株式等に関するマイナンバーお届出のご案内

2016年1月から、社会保障、税、災害対策の行政手続きにおいてマイナンバーの利用が開始されています。

株式等の税務関係の手続きでもマイナンバーが必要となりますので、株主様のマイナンバーについては、お取引の証券会社等へお届出下さい。

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主様・・・お取引の証券会社までお問い合わせ下さい。
- 証券会社とのお取引がない株主様……………下記株主名簿管理人のフリーダイヤルまでお問い合わせ下さい。

【三菱UFJ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル】 ☎ 0120-232-711

【三菱UFJ信託銀行 大阪証券代行部 フリーダイヤル】 ☎ 0120-094-777

マイナンバー制度に関するお問い合わせ先

マイナンバー総合フリーダイヤルへお問い合わせいただくか、内閣官房ホームページにてご確認ください。

【マイナンバー総合フリーダイヤル】 ☎ 0120-95-0178

【内閣官房ホームページ】 <http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/>

マイナンバーの提供について

2016年1月以降、新たに証券会社とお取引をされる株主様は、マイナンバーを証券会社に提供する必要があります。
2015年12月以前より証券会社とお取引をされている株主様も、2018年末までにはマイナンバーの提供が必要です。

マイナンバーの取扱いについて

マイナンバーの取扱いは、法律により厳格な保護措置が設けられており、利用範囲は社会保障・税・災害対策の行政手続きに限定されています。

※当ご案内は、2016年9月時点での情報を基に作成しています。

クイック グループ 第37期 第2四半期 株主通信

(2016年4月1日～9月30日)



株主の皆様へ

少子高齢化による構造的な人材不足等を背景とした求人ニーズの拡大を受け、上半期の業績は、前期に続き売上高・利益ともに過去最高を更新いたしました。

初冬の候、株主の皆様には平素より温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、第37期第2四半期(2016年4月1日から9月30日まで)の株主通信をお届けし、決算の概要についてご報告いたします。

上半期の国内経済は、熊本地震や台風被害等の影響による個人消費の落ち込みに加え、中国経済の減速、英国のEU離脱決定に伴い株式市場や為替相場が不安定な動きになったことで、景気全般に停滞感の強い状況が続きました。

一方、国内の雇用情勢は、少子高齢化による構造的な人材不足が続く中、有効求人数が過去最高水準を更新し、就業地別の有効求人倍率が初めて全都道府県で1倍を超える等、幅広い業種で人材獲得の動きが強まりました。これが人材サービス事業及びリクルーティング事業を主力事業とする当社グループの業績拡大を後押ししたことで、上半期の業績は増収増益となり、売上高及び利益ともに前期に続いて過去最高を更新しました。

また、4月1日には、保育士派遣・紹介事業、保育園運営事業等を展開する(株)ワークプロジェクトを完全子会社化しました。人材サービスに関わる企業として、同社の事業を通じて待機児童問題の解消や女性の就業率向上、活躍を支援し、構造的な労働力不足問題の解消という側面での社会貢献を目指してまいります。

下半期につきましては、引き続き雇用情勢の改善傾向が継続するとみられ、これに伴い、新卒採用・中途採用に関わらず採用の難易度が高まっていくことが予想されますが、こうした事業環境の変化を、他社との差別化やさらなる成長のためのチャンスと捉え、人材サービス事業をはじめとして、各事業で将来に向けた投資の積極化や人材採用・育成の強化等に取り組むことで、今期計画の達成と来期以降の成長の道筋を確かなものにしてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2016年12月

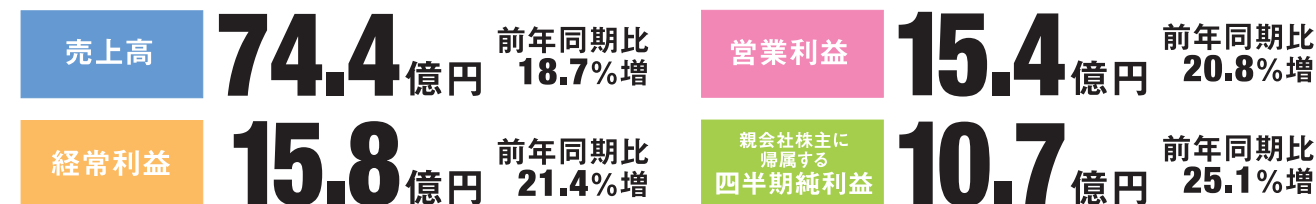


代表取締役社長 兼 グループCEO

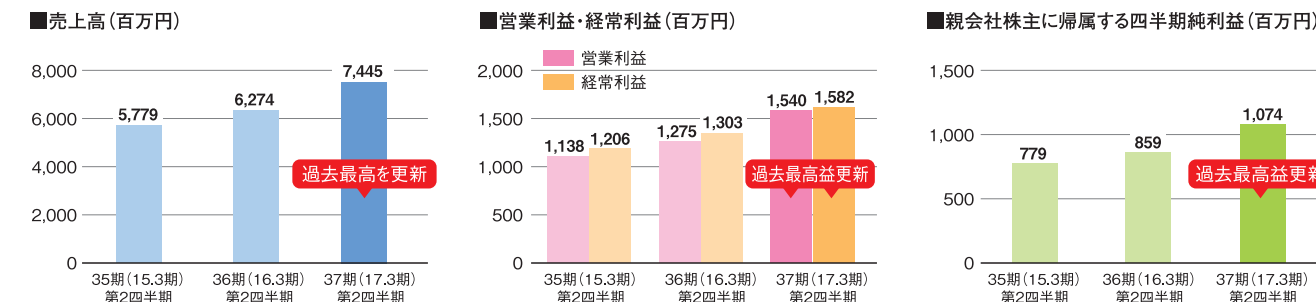
高橋 健

第37期 第2四半期決算ハイライト

期首の好スタートで、上半期の業績は過去最高を更新
通期での7期連続増収増益に向け、大きく前進!!



◆全事業セグメントで増収増益! 主力の人材サービス事業は、売上高・利益とも2ケタ増!
◆売上総利益率64.8%(前年同期比1.2ポイント増)、営業利益率20.7%(同0.4ポイント増)、
経常利益率21.3%(同0.5ポイント増)と、年々収益力が向上!



News & Topics

自動車業界専門の転職サイトオープンに加え、
製薬業界及び看護師向け専門サイトのコンテンツを強化

(株)クイック 人材紹介事業本部

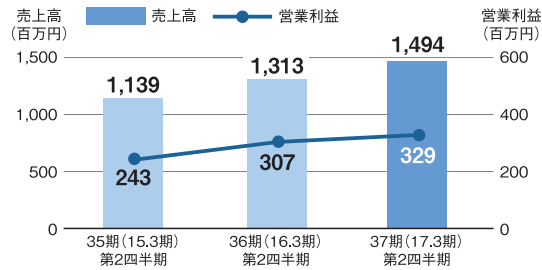


自動車業界の旺盛なエンジニア中途採用ニーズに対応すべく、同業界専門の転職サイト「オートモチブ・ジョブズ」をオープンしました。また、製薬業界の様々なニュースを分かりやすく解説するニュース解説メディア「AnswersNews」を本格オープンさせたほか、看護師専用コミュニティサイト「看護roo!」でも、看護技術を網羅した無料動画配信サービス「動画でわかる! 看護技術」に、新たに17ジャンル、47本の動画を追加する等、各サイトのコンテンツ・サービス強化に取り組みました。

セグメント別状況

リクルーティング事業 売上高 1,494百万円(前年同期比13.7%増)／営業利益 329百万円(同7.0%増)

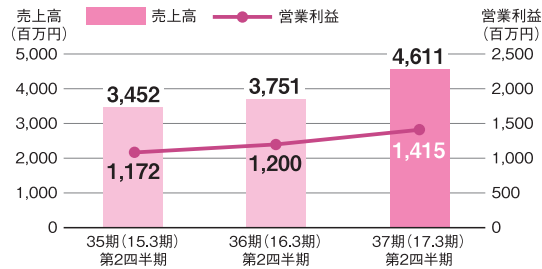
中途採用領域において、派遣スタッフ及びアルバイト・パート採用に関する求人広告の取り扱いが好調でした。また、新卒採用領域でも、2017年3月卒業予定の大学生向け新卒採用広告に加え、2018年3月卒業予定の大学生を対象としたインターンシップの本格化に伴い、広告の取り扱いが順調に推移しました。さらに、採用業務の一部を代行する人事業務請負サービスや採用パンフレット、適性検査等の各種採用ツールの取り扱いも拡大しました。



人材サービス事業 売上高 4,611百万円(前年同期比22.9%増)／営業利益 1,415百万円(同17.9%増)

■人材紹介

建設・土木分野や製造分野等の企業の採用ニーズは依然として高い状況が続いており、一般企業を対象とした人材紹介の業績は順調に拡大しました。また、看護師紹介も病院や介護施設等の旺盛な採用ニーズを背景に業績が順調に推移しました。こうした中、各種運営サイトの拡充やサービス強化、登録者獲得のためのプロモーション強化等により、他社との差別化及び顧客満足度の向上に取り組めました。

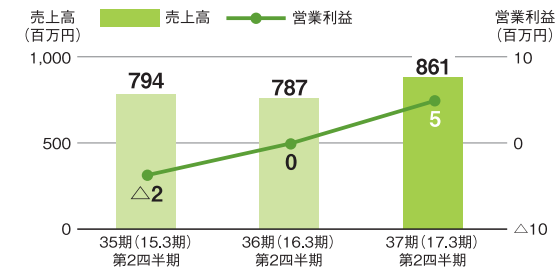


■人材派遣・紹介予定派遣・業務請負

パートタイム派遣が引き続き順調に推移したことに加え、医療・福祉分野における介護士等の派遣ニーズの高まりやパソコンセットアップ等のIT関連業務へのスタッフ派遣ニーズの発生等を背景に業績は順調に拡大しました。これら好調な分野のさらなる業績拡大に向け、派遣を希望する新たな登録者獲得のためのプロモーション強化にも取り組めました。

情報出版事業 売上高 861百万円(前年同期比9.3%増)／営業利益 5百万円(同985.0%増)

主力の生活情報誌において、住宅広告及び店舗広告等のタウン広告の取り扱いが好調だったため、石川・富山・新潟の全ての発行エリアで業績が拡大したことに加え、折り込みチラシ等の戸別配布業務が堅調に推移しました。また、住宅情報誌「家づくりナビ」、「ココカラ。家づくり」、「ココカラ。転職」、「ココカラ。ウェディング」等のコンシェルジュサービスも引き続き順調に推移しました。



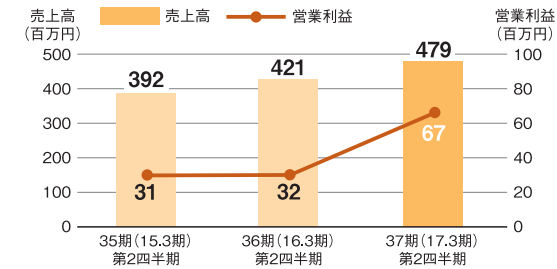
その他 売上高 479百万円(前年同期比13.7%増)／営業利益 67百万円(同112.0%増)

■ネット関連事業

採用関連ビジネスを中心に人事サービス業界各社のプロモーションニーズが旺盛だったことを受け、人事・労務に関する情報ポータルサイト「日本の人事部」の広告収入が順調に拡大しました。

■海外事業

QUICK USA, Inc.では、雇用情勢の改善に加え、外国人の労働ビザ取得の厳格化を背景に、ロサンゼルスオフィスで人材紹介及び人材派遣が、ニューヨークオフィスで人材紹介が順調に推移し、業績は大きく改善しました。上海クイック有限公司では、顧客企業の増員ニーズに対応し、人材採用コンサルティングの業績が拡大しました。また、主力の人事労務コンサルティングでは、人事評価制度構築等の大型案件獲得に向けた動きを強化する一方、既存顧客定着のためのフォローに取り組み、業績は徐々に改善してきました。



「日本の人事部 人事白書2016」の発行に加え、人事の学び場「日本の人事部 HRアカデミー」、人材サービス業界の学び場「日本の人事部 HRスクール」を新たに開校

(株)アイ・キュー

2016年6月、全国4,036社へのアンケート結果をもとに、国内企業の人事実態をまとめた「日本の人事部 人事白書2016」を発行しました。また、「日本の人事部」ネットワークより厳選された講師陣のノウハウを人事担当者同士と一緒に学び合う「日本の人事部 HRアカデミー」、人材サービス業界に関わる方々が、人事に関する最新トレンドを学び、様々な人事課題の解決策をともに考える「日本の人事部 HRスクール」を新たに開校し、「HRカンファレンス」に代表される、人材サービス業界内の人事交流やネットワーク形成の場の拡充を通じて、「日本の人事部」ブランドの拡大に取り組めました。



大人女子向けガイドブック「週末、金沢あそび。」創刊、北陸のブライダル情報誌「結婚SANKA」をリニューアル

(株)カラフルカンパニー

2016年6月、「地元のまちの魅力、再発見」をコンセプトのもと「金沢情報」編集部が、金沢で過ごす週末をもっと楽しみたいという大人女子をターゲットとした、おでかけガイドブック「週末、金沢あそび。」をリリースしました。また、9月には、北陸のブライダル情報誌「結婚SANKA」が、よりリアルな情報をお届けすべく、北陸で行われた挙式の実例記事に特化した誌面構成に全面リニューアルしました。



コーポレートサイトの常時SSL化を実施、第36期(2016年3月期)株主様アンケート結果を掲載

(株)クイック

コーポレートサイトを安心してご利用いただけるよう、より安全で信頼性の高いサイトを目指し、これまで個人情報の入力が必要なお問い合わせページのみで採用していた暗号化通信をサイト全体で採用し、常時SSLに対応しました。また、2015年度(第36期)株主通信に同封の「株主様アンケート」に関しまして、皆様から頂戴しましたご意見の一部を、コーポレートサイトにて掲載いたしました。

第36期(2016年3月期)株主様アンケート結果
<https://919.jp/ir/enquete.php>

連結決算概要

連結貸借対照表

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)			
	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2016年9月30日)	増減額
【資産の部】			
流動資産	5,488	6,347	858
現金及び預金	3,430	4,569	1,138 ①
受取手形及び売掛金	1,625	1,367	△ 257 ②
繰延税金資産	139	178	39
その他	301	241	△ 60
貸倒引当金	△ 8	△ 9	△ 1
固定資産	1,842	1,967	124
有形固定資産	728	705	△ 23
建物及び構築物	388	372	△ 16
車両運搬具	1	2	1
工具、器具及び備品	50	43	△ 7
土地	276	276	—
リース資産	11	9	△ 1
無形固定資産	185	194	8
投資その他の資産	928	1,067	139
投資有価証券	528	663	134 ③
敷金	362	361	△ 1
繰延税金資産	0	1	0
その他	40	44	4
貸倒引当金	△ 4	△ 3	0
資産合計	7,331	8,314	982

■ポイント解説

- ① 主な要因として、人材サービス事業をはじめとする売上高の増加があります。
- ② 主な要因として、前年度末(3月)に売上計上が集中した新卒採用商品の売掛金の回収、買掛金の支払いにより、それぞれ減少しました。

(単位:百万円)			
	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2016年9月30日)	増減額
【負債の部】			
流動負債	2,471	2,554	83
買掛金	604	228	△ 375 ②
短期借入金	191	191	—
未払金	528	498	△ 29
未払費用	309	345	35
未払法人税等	311	567	255
賞与引当金	242	348	106
返金引当金	15	19	4
その他	268	354	86
固定負債	151	164	13
繰延税金負債	89	111	21
資産除去債務	34	35	0
その他	26	18	△ 7
負債合計	2,622	2,719	97
【純資産の部】			
株主資本	4,466	5,315	849
資本金	351	351	—
資本剰余金	307	307	—
利益剰余金	3,825	4,675	849 ④
自己株式	△ 18	△ 18	—
その他の包括利益累計額合計	242	279	36
純資産合計	4,708	5,594	885
負債純資産合計	7,331	8,314	982

- ③ 保有する投資有価証券の評価額の上昇によります。
- ④ 親会社株主に帰属する四半期純利益1,074百万円の計上及び剰余金の配当△225百万円によります。

連結損益計算書

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)			
	前第2四半期 連結累計期間 (2015年4月1日～ 2015年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2016年4月1日～ 2016年9月30日)	増減額
売上高	6,274	7,445	1,170 ⑤
売上原価	2,283	2,621	338 ⑥
売上総利益	3,990	4,823	832
販売費及び一般管理費	2,715	3,283	568 ⑦
営業利益	1,275	1,540	264
営業外収益	30	43	13
営業外費用	2	1	△ 0
経常利益	1,303	1,582	278
特別損失	—	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,303	1,582	278
法人税等合計	447	507	60
四半期純利益	856	1,074	217
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 2	—	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	859	1,074	215

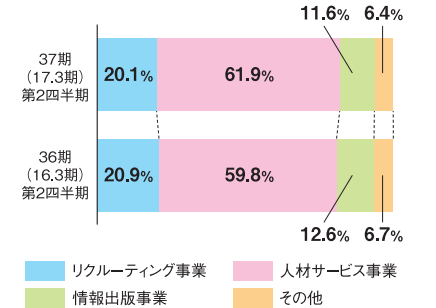
連結キャッシュ・フロー計算書

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)			
	前第2四半期連結累計期間 (2015年4月1日～2015年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (2016年4月1日～2016年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	629	1,490 ⑧	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 65	△ 112 ⑨	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 199	△ 232 ⑩	
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△ 6	
現金及び現金同等物の増加額	366	1,138	
現金及び現金同等物の期首残高	3,121	3,400	
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,487	4,539	

■ポイント解説

- ⑤ 報告セグメント別の売上高構成比は、以下のとおり、人材サービス事業の割合が2.1ポイント拡大しました。



- ⑥ 主な要因として、人材サービス事業における派遣売上高増加に伴う労務費の増加及びプロモーション強化による費用の増加があります。
- ⑦ 主な要因として、人員増に伴う人件費の増加408百万円等があります。

- ⑧ 法人税等の支払い315百万円、仕入債務の減少309百万円等により資金が減少しましたが、税金等調整前四半期純利益の計上1,582百万円等により資金が増加しました。
- ⑨ 主な要因として、4月に子会社化した(株)ワークプロジェクト(非連結子会社)の株式取得等に伴う、投資有価証券の取得による支出60百万円があります。
- ⑩ 主な要因として、配当金の支払い225百万円があります。